令和３年度学内版GP 申請書

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組名称 |  | | | | | |
| 取組学部等 |  | | | | 取組開始時期 | 令和３年　　　　月 |
| 連携する他学部・機関がある場合は記入 | |  | | | | |
| 取組担当者名  （複数人申請の場合は，取組  責任者名の前に「※」を記入） | | | 所属・職名 | 連絡先（内線電話，e-mail） | | |
|  | | |  |  | | |
| 取組内容（※青字・赤字は削除して記入してください）  以下の内容を含む記述をお願いします。赤字部分は審査基準です。  （※形式的な審査基準：「取組の概略図」も含めて４頁以内に収まっていること）  （１）取組の概要　（※対象とする学生の範囲を明確にしてください。）  審査基準その１：①「受講生の主体的学修を促す教育実践」，②「受講生の達成感（＝自己効力感等）を上げる教育実践」の両方を明確にねらった教育取組であり，教育成果が期待できる優れた取組であることが書面から確認できる  審査基準その２：今回申請する取組が，体系的な教育課程の中に明確に位置付けられている  審査基準その３：取組の目的をどのように達成するのかが書面から明確に確認できる  （２）本取組に関連したこれまでの実績  ※過去３年間に同様の取組を申請して採択されている場合は，採択された取組名を挙げ，それがどのように発展するか，また過去に採択された取組との違いを明確にすること  過去の採択の有無（有　・　無）←どちらかに○をつけてください。  審査基準：これまでに関連した実績があり，その実績が申請する取組の発展に寄与するものとな  っている  （３）　申請する内容が意図する教育成果  審査基準：意図する教育成果が魅力的である  （４）　学修成果を測定する仕組み  審査基準：成果の測定方法が明確である  ※「受講生の達成感＝自己効力感等）を上げる教育実践」については，例えば「楽しかった」というアンケート回答数のようなものではなく，「～という技能が伸びた」という，成績に反映される能力の伸びを測るという種類のものが望まれます。  （これに関するご相談は高等教育研究センターで承ります）  ※なお，採択された場合，科目GPAと授業アンケートの数値等を分析することにより，その取組の「受講生の主体的学修を促す教育実践」としての，また「受講生の達成感（＝自己効力感等）を上げる教育実践」としての教育成果を報告書に記載していただくことになります。  （５）　取組のよい部分を普及させるための組織的FD活動の予定 審査基準：FD活動の内容が明確で，効果が期待できる  （６） ICTを有効利用しているプログラムであると言える理由  審査基準：ICTを有効利用しているプログラムであると言える理由が明確である  （７）要求額内訳　（※「別添\_要求額内訳」に記入してください）  審査基準：要求する費目と金額が適切である（全体の要求額の多寡は審査対象とならない） | | | | | | |
| 取組の概略図  申請する取組の概念図（目的と，その達成手段のプロセスについて，全体像と特徴がわかるように図示してください。） | | | | | | |